

民生委員・児童委員ってなあに？

あなたの地域の民生委員・児童委員さんがどのようなことをされているか知っていますか？？？

さて、質問です！

Q. 民生委員・児童委員の活動に当てはまるものを答えてください。

1. 高齢者の安否確認や見守りのための訪問活動
2. 子どもの頃によく出会った横断歩道を渡るときに旗を持って立っている大人
3. 地域行事や学校行事へ参加し、住民との交流を深める

答えは・・・

3つとも正解です！びっくりですよ

民生委員・児童委員さんは地域の方の身近な相談相手だけでなく幅広く地域のヒーロー的存在として、地域のために貢献しています。地域住民の悩みや課題を聞いたり、誰かに相談したいけれど、どこにどう相談すればよいかわからないというときに民生委員・児童委員の存在を知っておけば、気軽に相談できるかもしれません！

地域住民同士のつながりを作ったり、必要であればニーズに合った関係機関にもつなげてくれたり、さまざまな橋渡しとなる役割も担っています。私たちのような若い世代は、民生委員・児童委員の方の存在を知らないという人も多いかもしれません。まずは知ってもらい、民生委員・児童委員の皆さんと一緒に地域福祉活動に参加する人が一人でも増えてくれるといいなと思います。



オリエンテーション

令和4年7月27日に民生委員・児童委員体験型インターンシップに参加する学生に対して、神戸市が開催する事前研修（オリエンテーション）に参加しました。



主に、民生委員・児童委員についてのお話や、社会福祉協議会職員による地域づくりのお話を聞き、学生同士でも民生委員・児童委員について印象の変化を共有し、地域に出て活動に参加する前に、民生委員や地域福祉活動についての理解を深めました。

インターンシップ

こども食堂

こども食堂は、「無料または低価格で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場」と定義されています。



しかし、実際は子どもたちだけでなく、子ども以外の方も参加する「多世代交流拠点」と運営している所が多く、実際、私たちが活動したこども食堂も「多世代交流拠点」として運営されていました。



私たちの活動内容

★15時00分～ 食事・食器準備

この日のメニューは唐揚げだったため、鶏肉を切るところから。
ご飯やサラダとマカロニ、スープの準備

★17時00分～ 高齢者利用の方が来られます

子どもは別室で学生ボランティアと勉強。

★19時00分～ こども食堂終了、後片付け



活動を終えて感じたこと

- 学習が出来て、さらに食事までとれる素敵な場所
- 子どもから高齢者まで利用出来る
- 子どもから高齢者までが食べるメニューを考えるのは大変
- 親にとって頼れる場所、子どもたちにとっては和める場所
- こども食堂に参加する理由は貧困や孤食対策だけではなく、利用者にとっての一つのコミュニティとなり、一緒に過ごしていく中で、困りごとや課題に気づくことが出来る



ふれあい喫茶

喫茶店とは違い、地域住民のボランティアによる喫茶です。

自由にコーヒーやミルクティーを飲んだり、お菓子のエクレアやシュークリームを食べながら、お友達同士や民生委員の方と楽しい時を過ごします。開店中は、いつ来ても、いつ帰っても大丈夫で、散歩ついでにいろいろな人が来て、飲んで、話して、和んで、帰ります。ふれあいの場として、誰でも楽しく共に過ごせます。

私たちの活動内容

★9時00分～

挨拶、活動ミーティング

★10時00分～

ふれあい喫茶開店

お飲み物やお菓子の提供
会話（歌や踊りについて）
プチスマホ講座

★11時00分～ あと片付け



活動を終えて感じたこと

- 住民のコミュニティづくりだけでなく、地域の警察官が防犯防止についてのチラシを配りに来られたり、喫茶を通して見守りが行われていました。
- 高齢者の孤立化を防ぐため和める場所を提供することが必要
- 地域の方と触れ合う機会は大切で、地域の活性化にもつながる活動であることを学びました。
- 元気な高齢者が訪れる印象



高齢者訪問

一人暮らしの高齢者の家を訪問し、ちょっとした世間話をしたり、交流を深めると同時に近況をお伺いし、その方の生活状況に変化がないのか、体調は良好なのかを確認したり、それぞれに応じた福祉サービスの情報を提供したりしながら、見守り活動を行いました。



私たちの活動内容

★9時45分～ 集合・ミーティング

★10時00分～ 訪問開始(8件)

★11時30分 訪問終了

活動を終えて感じたこと

- 一人暮らしの方が多く、孤立している方も多かったです。
- 地域団体と協力して「おたより」を作成し、地域の方からの声を集めたり、地域のイベントのお知らせを掲載するなどし、訪問の際に高齢者に配布して、高齢者の楽しみを増やす取り組みをしていました。
- 民生委員のみなさんは楽しそうに話しかけてくださり、コミュニケーションの大切さを感じました。
- 地域活動と地域の方と関わる大切さを感じ、自分も地域活動に積極的に参加しようと思いました。



事後報告会 ～振り返りと分かち合いのワーク～

参加者が集まって、民生委員・児童委員インターンシップ事後報告会を行いました。4～6人で1グループを作り、合計7グループに分かれてグループワークを行いました。



グループワークでは、セッション1・2・3と3つの課題に取り組み、付箋に書いて、グループで自分たちの体験や気づき、感想、提案などをし、学生の視点で大きな紙にまとめました。

セッション1では、まず最初にそれぞれ参加した活動を紹介しました。参加した分野はいろいろです。次に、参加する前と後の印象の変化を共有し、こども食堂に参加した学生からは、

「食事以外にも学習支援や遊び相手になった」

「子どもだけではなく、高齢者も参加ができ、保護者の交流の場にもなっていた」といった意見が出ていました。

セッション2では、参加した活動の効果（役割）、学生の視点で民生委員の役割について、共有を行いました。

「地域の人とコミュニケーションをとる機会を作る役割」

「人と人との橋渡しとなる役割」

「多くの人を気にかけて、関わってる地域の親」などの意見が出ていました。



セッション3では、地域の方や若い世代の方に民生委員を知ってもらえる方法を考えました。

「漫画家に頼んで、民生委員の活動を漫画にしてもらい分かりやすく紹介する」

「回覧板で民生委員・児童委員の紹介チラシを回す」

「地域のSNSなどを活用した民生委員活動の発信」などの意見が出ていました。



グループで共有した後は、グループごとに発表し、事後報告会を見に来られていた民生委員さんから講評をいただきました。



インターンシップを終え、神戸市から民生委員・児童委員学生インターンシップ参加証を頂きました。

民生委員・児童委員の現場を体験して

民生委員・児童委員の活動を体験し、地域を思う気持ちを体感する貴重な経験をすることができました。地域の方と触れ合う機会は私たちにとっても地域住民の方にとっても大切で、地域の活性化にもつながることを活動を通して学びました。

これからも自分の身近なコミュニティだけではなく、多くのコミュニティに意識して関わっていききたいと思います。

民生委員制度の機能が地域にとって必要不可欠であることも分かりました。

この活動を通して、自分の可能性を広げられた一方で、自分の弱みを見つけることもできました。次の課題に向けて頑張っていきたいと思いました。

